

《解答例》

【一】

設問	解答例
問一	a しきたく b 偶然 c いくえ d 施した e 俗悪
問二	ろつそくの放つ暗い光の中で膳や椀を見つめていると、漆器の持つ深さと厚みを持ったつやが、明るい光を受けた場合と違った魅力を帯び出して来るから。(70字) または 漆器は、闇の中に置かれてろつそくのような乏しい光線を受けると、渋く重々しい味わいをかもし出し、それによって言い知れぬ余情を生み出すから。(68字)
問三	漆器は太陽や電灯などの明るい光を受けると、肌つやや金時絵がピカピカ光り、派手で悪趣味なものになってしまう、ということ。(59字)
問四	簡素で地味な姿であっても一向にかまわないだろう。
問五	めでたき。係助詞「ぞ」の結びで、連体形となるから。(係り結びの法則により、連体形で結ぶから。)
問六	日常、正式の場という区別なく、衣装を整えておきたい。
問七	では、漆器は闇の中に置かれ、乏しい光を受けることによって、金時絵のような豪華絢爛な模様が、渋く、重々しい味わいになると指摘している。では、きらびやかで、はなやかな衣装が昼とは異なっていてよいのであって、夜の暗さの中で灯火に照らされる様子がすばらしいと言っている。両者とも、明るい光の中では派手なものであっても、暗黒を背景にして乏しい光を受けると趣深いものとなる、と主張しているところが共通している。(200字)

【二】

設問	解答例
問一	「初」を意味する「ハナ」という語が、なぜ「ものごと」の気の集中する先端「みたいな部分や現象を指し示すことを原義とする言葉の用法の一つと言えるのか。(七十二字)
問二	ホピ族の「世界のあり方」の基本のわくぐみを作っていたのは「顕在態」と「潜在態」という二つの態様であり、「未来」は、「潜在態」に属していた。したがって、ものごとの「初まり」とは、潜在態(ウラの世界)から顕在態(オモテの世界)に現れ出た「出ばな」のようなものであり、「ものごと」の気の集中する先端「とも言えるが、このホピの人々の世界の感じられ方は日本文化の古層の感覚と基本的に同じと考えられるから。(百九十五字)
問三	美しい花は、この世のものではなく、「あの世」「かくり世」「ウラの世界」に属する聖なるものの、現世への出現態(「別世界の消息」)であり、平気で折りとることのできない、感動と畏れに充ちたものと感じられた。(百字)
問四	日本でも以前、花は「あの世」の存在である死者に手向けるものと感じられたため、生前娘が赤い花をむしりたがった時、むしらせなかった。その花を、今「あの世」へ行った娘にやっと手向けてあげることができる、という意味。(百四十四字)

小論文2 解答例

【問1】

(1) 1番目、2番目、3番目、4番目・・・と考
えていくと

10番目は
 $1+2+3+4+5+6+7+8+9+10=55$ となる。

(2) 左辺は左辺、右辺は右辺を辺々加えて

$$2S = 101+101+\dots+101$$

となる。1から100までの項数が100な
ので

$$2S = 101 \times 100$$

$$S = \frac{101 \times 100}{2}$$

$$= 5050$$

$$\begin{array}{r}
 S = 1 + 2 + 3 + \dots + 98 + 99 + 100 \\
 +) S = 100 + 99 + 98 + \dots + 3 + 2 + 1 \\
 \hline
 \boxed{2} S = \boxed{101} + \boxed{101} + \dots + \boxed{101} \\
 \boxed{2} S = 101 \times \boxed{100}
 \end{array}$$

よって $S = \boxed{5050}$

(3) (1)より n 番目は、 $1+2+3+\dots+n$
までの和となる。

(2)より

$$S = 1 + 2 + 3 + \dots + (n-1) + n \dots \text{とおく。}$$

順番を変えて後ろから加えると

$$S = n + (n-1) + (n-2) + \dots + 2 + 1 \dots$$

、左辺、右辺を辺々加えると

$$2S = (n+1) + (n+1) + (n+1) + \dots + (n+1)$$

となり、 $n+1$ を n 回加えているので

$$2S = (n+1) \times n$$

両辺2で割って

よって、 $S = \frac{n(n+1)}{2}$

【問2】

(1) 頂点AからBCに垂線AHを下ろす。

BH = 4cmであるから、ABHにおいて
三平方の定理より、

$$AH = \sqrt{AB^2 - BH^2} = \sqrt{(4\sqrt{5})^2 - 4^2} = 8$$

よって、台形ABCDの面積Sは、

$$S = (8+16) \times 8 \div 2 = 96 \text{cm}^2$$

(2)(1)より、p=4, q=12である。

() 0 x 4のとき

重なる図形は三角形である。高さは底辺の
2倍であるので、 $y = x \times 2x \div 2 = x^2$

() 4 x 12のとき

4秒後の面積は16cm²である。

() の区間では1秒ごとに8cm²ずつ面積
が増えていくので、

$$y = 16 + 8(x - 4) = 8x - 16$$

() 12 x 16のとき

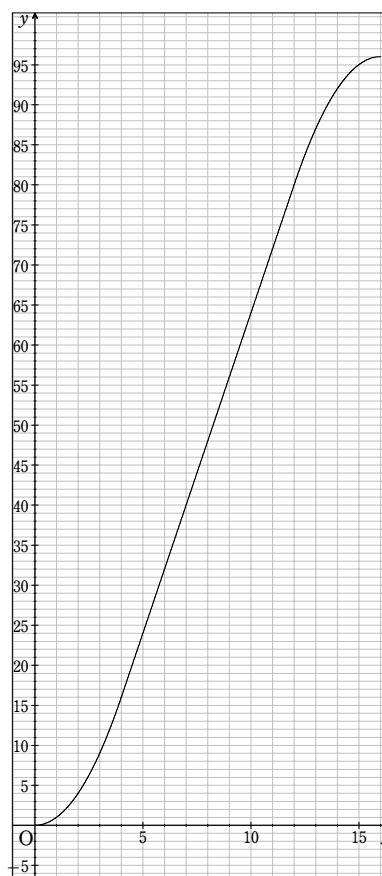
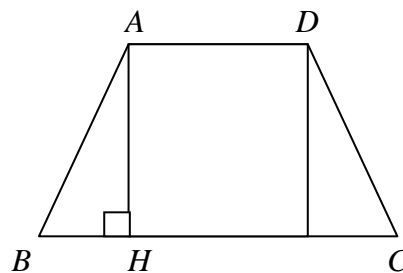
12秒後の面積は80cm²である。

() の区間では、台形の面積分だけ面積が
増えていくので、

$$y = 80 + \{8 + (8 - 2(x - 12))\} \times (x - 12) \div 2$$

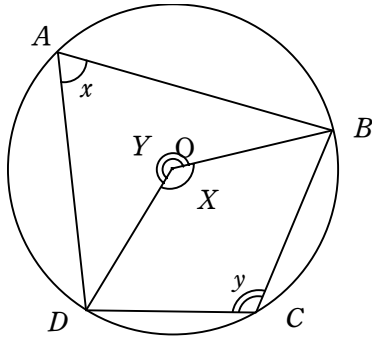
$$= -x^2 + 32x - 160$$

(3)(2)よりxとyの対応表は以下のよう
なる。グラフは右図参照



x	1	2	3	4	5	6	7	8
y	1	4	9	16	24	32	40	48
x	9	10	11	12	13	14	15	16
y	56	64	72	80	87	92	95	96

【問3】



(1) 図のように点 A,B,C,D を定め、中心 O に対して、補助線 OB、OD を引く。また、点 C を含む弧 BD に対する中心角を X、点 A を含む弧 BD に対する中心角を Y とする。

円周角と中心角の関係より

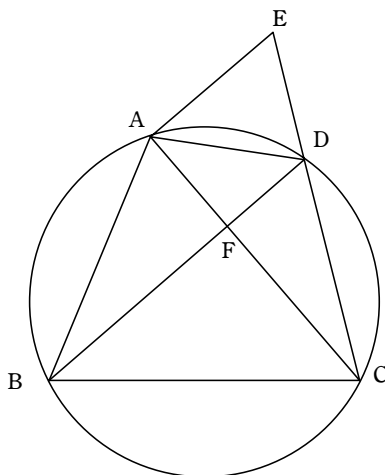
$$X = 2x$$

$$Y = 2y$$

また、 $X + Y = 360^\circ$ だから

$$2x + 2y = 360^\circ$$

両辺を 2 で割って、 $x + y = 180^\circ$



(2) 証明) ABC と EDA で

円に内接する四角形 ABCD だから、

(1)より、 $\angle ABC + \angle CDA = 180^\circ$

また、 $\angle CDA + \angle EDA = 180^\circ$

よって、 $\angle ABC = \angle EDA \dots$

弧 AB に対する円周角より

$$\angle ADB = \angle ACB$$

AE//BD より、 $\angle EAD = \angle ADB$ (錯角)

よって、 $\angle ACB = \angle EAD \dots$

、より 2 角がそれぞれ等しいので

$\triangle ABC \cong \triangle EDA$ (証明終)

(3) 円周角の定理より $\angle ADF = \angle BCF$ 対頂角より $\angle AFD = \angle CFB$

2 角がそれぞれ等しいので、 $\triangle AFD \sim \triangle CFB$ よって、 $AF : BF = AD : BC = 2 : 5$

$$AF = \frac{2}{5}BF \dots$$

同様に、 $\triangle AFB \sim \triangle DFC$ よって、 $AF : DF = 8 : 7$

$$AF = \frac{8}{7}DF \dots$$

$$\therefore \frac{2}{5}BF = \frac{8}{7}DF \quad BF = \frac{20}{7}DF$$

$$\text{ゆえに } BD = BF + DF = \frac{20}{7}DF + DF = \frac{27}{7}DF$$

$$\text{したがって } \frac{BF}{BD} = \frac{20}{7}DF \div \frac{27}{7}DF = \frac{20}{27}$$

小論文3 解答例

- 【問1】(a) 日本人はアメリカ人ほど大げさなジェスチャーを使わない。(27字)
日本人はアメリカ人ほど豊かに、頻繁に、感情を顔に表さない。(29字)
日本人は話すとき、アメリカ人ほど唇や口元を動かさない。(27字)
- (b) Before visiting foreign countries, I want to study body languages used there because I think they are very important to communicate and understand each other. (25words)
- 【問2】(a) あなたは、買ったものがみな袋に入っているなんて何て不思議だろう、と立ち止まって考えてみたことがありますか。
- (b) ア trees イ oil
- (c) 700枚の袋はどのくらいの時間もつだろうか。
- (d) how many trees are being cut down and how much plastic is used
- (e) It is also good to bring a bag with you and use it when you go shopping. [when you buy something.] (17words)
- 【問3】(a) 黒人の子供は白人とは異なった学校へ行き、彼らの両親は白人とは町の異なった地域に住み、異なったレストランで食事をし、異なった映画館で古い映画を見ること。(76字)
- (b) 弁論大会で優勝した帰り道、キングと彼の先生は白人のために席を譲らなくてはならず、長い道のりを立っていなければならなかった。厳然として残る人種差別に対し強い怒りの気持ちから。(87字)
- (c) バスの中で白人に席を譲らなかったの。(19字)
- (d) riding
- (e) 仕事、町、学校、その他どんな場所に行くにもバスに乗ってはいけない。タクシーに乗るか、人の車に同乗させてもらうか、歩くかにせよ、という助言。(70字)
- (f) ハ
- 【問4】 Go straight and turn left at the first corner. You pass the police station on your right. And then turn right at the next street. You will see the bookstore on your left. Go straight, and you will see the bank on your left and the hotel on your right. After a while you will find the post office on your left. (62語)

平成19年度前期選抜小論文 出題の趣旨と評価の観点について

長野県諏訪清陵高等学校

各設問を下表の「評価の観点」によりA、B、Cの3段階で評価し、それらをもとに「小論文」の評価をA～Eの5段階で行った。

出題の趣旨	設問	評価の観点
<p>【一】 暗黒の中に浮かび上がるほのかな美をめぐる日本の伝統的な美的感覚について記した現古二つの文章を提示し、内容把握などの基礎的な読解力を測るとともに、適切で論理的に表現できる力をみた。 問一ではすべての基礎となる語彙力を問うた。 問二では理由に当たる本文記述の把握に基づく条件に合った適切な表現力を、 問三では本文の内容に関する説明を、各自の語彙力を用いて適切に表現できるかをそれぞれ問うた。 問四、問六では古文の読解力をもとに、設問の指示する該当部分を、現代語として適切に表現できるかを問うた。 問五では基本的な文法事項である係り結びについて、その概要をおおまかに説明できるかをみた。 問七では二つの文章から共通した内容を読み取る力をみるとともに、設問の条件を満たしつつ、字数制限を踏まえて論理的に構成する総合的な表現力を問うた。</p>	問一	・基本的な漢字の読み書きができるか。
	問二	・漆器は乏しい光を受けたときにこそ、魅力や余情を生み出すということを中心に、指定の字数内で適切に理由をまとめているか。
	問三	・明るい光が漆器の魅力を増殺する主旨を本文から読み取り、指定の字数内で適切にまとめているか。
	問四	・設問に該当する部分を把握し、適切な現代語に言い換えることで説明できているか。
	問五	・係り結びの法則を説明できているか。
	問六	・設問に該当する部分を把握し、適切な現代語に言い換えることで説明できているか。
	問七	・二つの文章に共通して描かれている夜(闇)の中の美の本質について ・指定された形式に従いながら、論理的な文章構成がされているか。 ・指定の字数内で適切に説明されているか。
<p>【二】 論理的文章の読解力、論理的表現力を見るときともに、自らの思考習慣を超えて、他者の思考を理解しようとする思考の柔軟性を見た。 問一では指示語の指示内容について記述させることによって、論理的思考力及び表現力をみた。 問二、及び三では、関連する段落において提起されている問題の答えを本文中より読みとり、説明させることによって、論旨を段落ごとに正確に読みとる力と、表現力を見た。 問四では、先の二つの問題を通して得られた概念を用いて、文章冒頭の問題を考察させることによって、総合的な読解力及び応用力を見た。</p>	問一	指示語の内容を正確にとらえることができているか。 語彙、表現が適切であるか。
	問二	第三段落の論旨を正確に理解しているか。 根拠に基づいた論理的な説明となっているか。 語彙、表現が適切であるか。
	問三	第五段落の論旨を正確に理解しているか。 語彙、表現が適切であるか。
	問四	全体の論旨を正確に理解しているか。 語彙、表現が適切であるか。

小論文 1

	出題の趣旨	設問	評価の観点
小論文2	【問1】 数の規則性をとらえ、具体的な数から一般化する問題。 (1)は、規則性をみいだす問題。 (2)は、(1)を更に進め具体的な計算の仕方を通して、論理的な見方を問うた。 (3)は、(1)(2)の一般化。文字を扱う思考力、応用力を問うた。	(1)	・規則性をみいだし10番目の総数を求めることができたか。
		(2)	・1から100までの合計を示された解法で求めることができたか。
		(3)	・n番目の規則性を見いだせたか。 ・(2)を利用して立式でき、計算できたか。
	【問2】 台形を動かし、正方形と重なる部分の面積の変化の様子を調べる問題。時間とともに、2次関数から1次関数に変化する様子をとらえてもらいたい。 (1)は(2)(3)のための準備である。 (2)は立式する能力を問うた。 (3)は1秒ごとの変化の様子から全体像をつかんでもらいたい。	(1)	・適切な補助線を引くことが出来たか。 ・三平方の定理を利用して立式でき、計算できたか。 ・台形の面積公式を利用して立式でき、計算できたか。
		(2)	・面積の増加の規則性を見いだせるか。 ・規則性を利用して立式でき、計算できたか。
		(3)	・ $Y = X^2$ および1次関数のグラフがかけるか。 ・()については点をとってつなげることが出来るか。
	【問3】 図形を通して論理的な数学の思考力、表現力などの応用力を問う。 円周角の定理から中心角と円周角との関係を捉え、円に内接する四角形の性質へと発展させた。また、相似な図形、平行線の性質の見方・考え方を通して、論理的思考力をみた。	(1)	・中心角と円周角の関係を使って説明できているか。 ・表現しようとする内容を適切な語句を用いて伝えているか。
		(2)	・着眼点、道筋、理由が正確か。 ・前問を利用して図形をとらえることができたか。
		(3)	・道筋をわかりやすく論理的に説明しているか。
	出題の趣旨	設問	評価の観点
小論文3	・英文の主題・要旨・結論などを迅速かつ的確に把握しているかをみようとしました。 ・国際化社会の一員として、異文化理解に取り組む姿勢をみようとしました。	問1	・具体的な内容を示す箇所を正確に把握し、指示された語数で過不足なく要約されているか。 ・設問の要求を正確に把握し、自分の意見を適切な英語で表現できているか。
		問2	・文脈に沿った的確な読解ができているか。 ・設問の要求を正確に把握し、自分の意見を適切な英語で表現できているか。
	問3	・概要を把握し、状況を的確に推測できているか。	
	問4	・基本的な表現、語句を正しく用い、意図することを的確に伝えることができているか。	
	・英文を読み、概要を把握しながら、それを基に思考・推測する力をみようとしました。 ・英語を使い、場面に応じた基本的なコミュニケーションが展開できるかをみようとしました。		